

『筑南小中学校のあり方を考える会』便り

第2号

R2. 9. 15

筑南小中学校のあり方を考える会 会長 大石 官

筑南小・中学校の将来のあり方（統廃合等問題） 令和3年度末には方向性の決定を！！

～各地域・各職場・各職域で論議を～ 令和2年度末頃討論会設定予定です。

筑南小・中学校の将来のあり方については、昨年12月25日に発足しました「筑南小・中学校のあり方を考える会」の論議の深まりを期待していたところですが、新型コロナが立ち塞がり、ソーシャルディスタンスに阻まれ、思うようにいかず気をもんでいました。

先月末の8月26日（水）、コロナの感染拡大の勢いが弱まったのをチャンスと考え、当初3月12日（木）に予定し、延期していましたが研修会「義務教育学校とは？」を急遽（筑南小学校体育館にて）開催しました。

36～7度という猛暑の中でしたが、当日は天が味方してくれたのか幾分か気温が下がり過ごしやすくほっとしました。50名程の参加があり、ご参加いただいた方々には深く感謝申し上げます。誠に有難うございました。

八女市教育委員会の指導主事の先生から、上陽や矢部の義務教育学校について説明していただきました。義務教育学校のメリット・デメリットや矢部の義務教育学校清流学園の設立過程など「筑南小・中学校のあり方を考える会」として大変参考になるお話でした。コロナに猛暑と、お二人の指導主事の方には大変ご迷惑をおかけしました。

矢部村の清流学園では、いろいろなあり方が検討され、方向を定めよりよいあり方に向かって一致団結し、開校が実現したようです。

筑南校区にとっても、いろいろな方向が考えられます。論議を深めていきましょう！！

- 1 児童数、生徒数を減らさず、増やす努力をし、現状を維持する。
- 2 小学校、中学校を合わせた義務教育学校に改編する。
- 3 小学校は現状維持。中学校は廃校し、他校と統合したり、一人一人選択制を活用したりする。
- 4 小学校は4年生までとし分校化し、中学校はどこかと統合する。
- 5 その他

筑南校区として、筑南校区の児童・生徒の将来を見据えた学校のあり方を考え深めていきましょう

☆ 義務教育学校とは（文部科学省）

義務教育学校とは、小学校課程から中学校課程までの9年間の義務教育を一貫して行う学校です。学校教育法の改正により2016年に新設された学校教育制度（第5章の2）。小中一貫校の一種とも言えますが、また違う存在です。義務教育学校は、「学校教育制度の多様化及び弾力化を推進するため、現行の小・中学校に加え、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う」学校であり初等教育と中等教育の一部の合計9年間の課程を一体化させた学校です。

【教育委員会指導主事講話内容】

1. 学校教育の現状
 - 身体の成長が早く、思春期が低年齢化している。
 - 中1ギャップの問題が発生している。
 - ①不登校が増加 ②いじめの認識件数増 ③暴力行為の加害児童生徒増
 - そのため、小中学校間の連携が必要。しかし、
 - ・ 小学校は学級担任制 中学校は教科担任制
 - ・ 小学校と中学校では生徒指導の方針や方法が違う。
 - だか、小中学校9年間で子どもの自己実現を図る教育活動が必要である。
2. 我が国の教育動向
 - 義務教育9年間を見通した目標の明確化する。
 - 学校運営協議会（コミュニティスクール）を設置する。「学校教育課」
 - 地域学校協働本部を設置する。「社会教育課」
- 3 コミュニティスクールを設置した義務教育学校では
 - 小中学校の職員数は減らないで、指導に当たる教職員は増える。
 - 専門知識を持つ中学校教員が小学校児童の指導に当たれる。
 - 6. 3制から4. 3. 2制へ（上陽北浜学園）
 - 6. 3制から4. 5制へ（矢部清流学園）
 - (1) メリット
 - 学力テスト等の平均正答率がアップした。
 - 中学校の不登校が減少した。
 - 児童生徒の規範意識が向上した。
 - 学校行事やPTA行事の一本化で、地域・保護者間の連携が深まった。他
 - (2) デメリット
 - 小中学校両方の免許を持つ教員を確保しなければならない。
 - 自由度の高いカリキュラムが現時点では設定できない。それぞれの学年の指導内容をそれぞれの学年でこなさなければならない。
4. 矢部村「清流学園」が設立されるまで
 - ① 平成28年度PTA総会で、中学校の今後について質問が上がる。
 - ② 同年9月、「小中連携教育の充実と今後のあり方」について研修会を行う。
 - ③ 同年10月、「地域と共のある学校づくり」推進協議会を設立する。
 - ④ 同年度内に義務教育学校への方針を決める。
 - ⑤ 平成29年度、6月より地域説明会を実施する。 約13回
 - ⑥ 地域説明会を受け、教育委員会へ義務教育学校への要望書を提出する。
 - ⑦ 同年9月、教育委員会を含めた「あり方検討委員会」が設立する。
 - ⑧ 平成30年度にかけて、推進協議会とあり方検討委員会が連携し、新しい学校作りを進める。(学校名・校歌・校章・等)
 - ⑨ 令和2年4月1日 開校式を行う。
- 5 今後考えられる筑南小学校・中学校の統廃合の形
 - ※ 大石会長の説明の中にあります。

☆ 筑南小・中学校の教育の充実のため、筑南校区地域学校協働活動が行われています。協働本部としては、より多くの専門知識を持った方や地域に貢献したい方、子どもたちの成長を見守り支えたい方を募集しています。定期的に申込用紙を配布しますので、ご協力よろしくお願ひします。

筑南校区地域学校協働推進委員 入江兼也・大坪初次郎